

## 平成21年度 調剤医療費（電算処理分）の動向

### 【調査結果のポイント】

- 平成21年度の処方せん1枚当たり調剤医療費（電算処理分。以下同じ。）は、8,034円であり、対前年度比は6.3%となっている。また、その内訳は、技術料が25.0%、薬剤料が74.8%となっている。【概要 表1、表2】
- 処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では10,041円と、0歳以上5歳未満の3,129円の約3倍となっている。【概要 表3】
- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率8.1%を（3要素に）分解すると、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率0.4%、投薬日数の伸び率4.5%、1種類1日当たり薬剤料の伸び率3.0%となっており、投薬日数及び1種類1日当たり薬剤料の伸びの影響が大きい。【概要 表4】
- 後発医薬品の割合は、薬剤料ベースでは6.9%（前年度より0.6%ポイント上昇）、数量ベースでは18.9%（前年度より0.9%ポイント上昇）となっている。【概要 表10】
- 都道府県別に内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料をみると、石川県が7,289円と最も高く、一方で、佐賀県が3,970円で最も低い。また、後発医薬品割合については、薬剤料ベース、数量ベースともに沖縄県が最も高く、それぞれ10.9%、31.0%となっている。一方、薬剤料ベース、数量ベースともに徳島県が最も低く、それぞれ4.8%、15.0%となっている。【概要 表13、概要 表14】

## 最近の調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成21年度版～

### 1. 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成21年度の電算処理割合は、医療費ベース、処方せん枚数ベースとも99%に達している。処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%未満と小さい。

表1 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

		実数					対前年度比(%)			
		平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
全数	調剤医療費(億円)	45,927	47,468	51,673	54,402	58,695	3.4	8.9	5.3	7.9
	処方せん枚数(万枚)	66,363	68,955	70,739	72,008	73,056	3.9	2.6	1.8	1.5
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,921	6,884	7,305	7,555	8,034	▲0.5	6.1	3.4	6.3
電算 処理 分	調剤医療費(億円)	25,658	33,305	41,803	49,630	58,124	29.8	25.5	18.7	17.1
	電算化率(%)	55.9	70.2	80.9	91.2	99.0	—	—	—	—
	処方せん枚数(万枚)	36,777	48,106	57,089	65,638	72,345	30.8	18.7	15.0	10.2
	電算化率(%)	55.4	69.8	80.7	91.2	99.0	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	▲0.8	5.8	3.3	6.3
	電算処理分/全数	1.008	1.006	1.002	1.001	1.000	—	—	—	—

## 2. 調剤医療費の内訳

処方せん1枚当たり調剤医療費(以下、電算処理分に限る。)の内訳をみると、技術料の割合が25.0%、薬剤料の割合が74.8%となっている。

対前年度比は、技術料が1.3%、薬剤料が8.0%となっており、処方せん1枚当たり調剤医療費全体では6.3%となっている。

表2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳

	実数					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	▲0.8	5.8	3.3	6.3
技術料(円)	1,897	1,901	1,924	1,984	2,010	0.2	1.2	3.1	1.3
構成割合(%)	27.2	27.5	26.3	26.2	25.0	—	—	—	—
薬剤料(円)	5,069	5,011	5,387	5,565	6,011	▲1.2	7.5	3.3	8.0
構成割合(%)	72.7	72.4	73.6	73.6	74.8	—	—	—	—
内服薬薬剤料(円)(再掲)	4,301	4,245	4,573	4,713	5,092	▲1.3	7.7	3.0	8.1
特定保険医療材料料(円)	10	11	12	12	13	7.5	8.2	3.7	9.8
構成割合(%)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—

### 3. 年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では10,041円と、0歳以上5歳未満の3,129円の約3倍となっている。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
総数	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	▲0.8	5.8	3.3	6.3
0歳以上5歳未満	2,892	2,865	2,929	3,005	3,129	▲0.9	2.2	2.6	4.1
5歳以上10歳未満	3,838	3,750	3,875	3,993	4,278	▲2.3	3.3	3.1	7.1
10歳以上15歳未満	4,556	4,359	4,545	4,672	4,929	▲4.3	4.3	2.8	5.5
15歳以上20歳未満	4,558	4,492	4,694	4,902	5,064	▲1.5	4.5	4.4	3.3
20歳以上25歳未満	4,668	4,604	4,828	5,042	5,221	▲1.4	4.9	4.4	3.6
25歳以上30歳未満	4,892	4,856	5,103	5,316	5,540	▲0.7	5.1	4.2	4.2
30歳以上35歳未満	5,193	5,167	5,430	5,667	5,941	▲0.5	5.1	4.4	4.8
35歳以上40歳未満	5,664	5,643	5,957	6,231	6,572	▲0.4	5.6	4.6	5.5
40歳以上45歳未満	6,230	6,195	6,535	6,828	7,241	▲0.6	5.5	4.5	6.1
45歳以上50歳未満	6,824	6,767	7,120	7,376	7,796	▲0.8	5.2	3.6	5.7
50歳以上55歳未満	7,351	7,275	7,635	7,881	8,320	▲1.0	5.0	3.2	5.6
55歳以上60歳未満	7,828	7,751	8,133	8,345	8,809	▲1.0	4.9	2.6	5.6
60歳以上65歳未満	8,065	7,998	8,423	8,665	9,151	▲0.8	5.3	2.9	5.6
65歳以上70歳未満	8,290	8,192	8,600	8,817	9,326	▲1.2	5.0	2.5	5.8
70歳以上75歳未満	8,552	8,446	8,875	9,111	9,611	▲1.2	5.1	2.7	5.5
75歳以上	8,817	8,751	9,220	9,491	10,041	▲0.7	5.4	2.9	5.8

#### 4. 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料5,087円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.87、19.7日、90円となっている。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率8.1%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々0.4%、4.5%、3.0%となっている。処方せん1枚当たり薬剤料の伸びは、投薬日数及び1種類1日当たり薬剤料の伸びの影響が大きい。

表4 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
内服薬 処方せん1枚当たり 薬剤料(円)	4,296	4,243	4,571	4,706	5,087	▲1.2	7.7	3.0	8.1
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.77	2.80	2.83	2.85	2.87	1.0	1.1	0.8	0.4
投薬日数(日)	16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	3.2	3.5	5.3	4.5
1種類1日当たり薬剤料(円)	93	88	90	88	90	▲5.3	2.9	▲3.0	3.0

5. 薬効分類別の状況(1)(処方せん1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,497円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が658円となっている。対前年度比は、血液・体液用薬が12.2%で最も高く、抗生物質製剤が▲2.2%で最も低い。

表5 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
内服薬 総数	4,296	4,243	4,571	4,706	5,087	▲1.2	7.7	3.0	8.1
11 中枢神経系用薬	485	500	555	596	658	3.2	11.1	7.2	10.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	74	74	78	84	89	▲0.5	5.2	7.3	6.6
114 解熱鎮痛消炎剤	81	76	81	84	91	▲5.4	6.5	3.9	8.4
116 抗パーキンソン剤	61	60	62	62	66	▲2.0	2.7	1.3	5.4
117 精神神経用剤	168	183	209	220	240	8.7	14.3	5.1	9.2
119 その他中枢神経系用薬	71	78	95	113	136	10.1	21.6	19.0	20.0
21 循環器官用薬	1,276	1,260	1,360	1,371	1,497	▲1.3	7.9	0.9	9.2
212 不整脈用剤	92	85	87	84	86	▲7.0	2.3	▲4.0	2.2
214 血圧降下剤	532	546	605	614	677	2.6	10.9	1.6	10.3
217 血管拡張剤	286	275	286	275	282	▲3.9	4.0	▲3.8	2.6
218 高脂血症用剤	283	272	294	309	352	▲4.0	8.2	5.0	13.9
22 呼吸器官用薬	90	82	78	74	73	▲8.7	▲4.3	▲5.3	▲1.6
23 消化器官用薬	470	457	487	492	530	▲2.9	6.8	0.9	7.7
232 消化性潰瘍用剤	357	341	364	366	395	▲4.5	7.0	0.5	7.9
239 その他の消化器官用薬	53	54	58	60	65	2.7	7.1	2.7	9.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	114	111	125	134	148	▲3.0	13.0	6.7	10.6
31 ビタミン剤	115	108	111	106	109	▲6.4	2.5	▲3.8	2.3
32 滋養強壮薬	57	58	62	64	69	1.0	7.0	2.9	7.7
325 蛋白アミノ酸製剤	50	50	54	56	60	1.2	7.5	3.3	8.3
33 血液・体液用薬	224	229	260	281	316	1.8	13.6	8.3	12.2
39 その他の代謝性医薬品	405	420	471	490	537	3.6	12.1	4.2	9.5
396 糖尿病用剤	151	158	179	187	205	4.6	13.0	4.9	9.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	172	180	207	221	247	5.0	14.5	6.9	12.0
42 腫瘍用薬	208	215	233	243	260	3.0	8.3	4.5	7.0
422 代謝拮抗剤	82	78	79	76	74	▲3.9	1.2	▲3.7	▲2.8
429 その他の腫瘍用薬	122	131	146	159	178	7.3	11.5	8.6	11.7
44 アレルギー用薬	312	300	324	341	353	▲4.0	8.1	5.2	3.5
52 漢方製剤	88	86	93	98	106	▲1.6	8.1	5.4	8.1
61 抗生物質製剤	171	161	157	149	146	▲5.5	▲2.5	▲5.3	▲2.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	89	79	77	73	68	▲11.4	▲2.8	▲5.3	▲6.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	72	73	70	66	67	0.3	▲3.2	▲6.4	1.5
62 化学療法剤	194	176	173	182	195	▲9.1	▲1.6	5.2	7.0
624 合成抗菌剤	53	52	54	52	52	▲2.9	4.3	▲3.3	▲0.8
625 抗ウイルス剤	75	70	70	81	96	▲6.6	▲0.0	15.1	19.1

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

6. 薬効分類別の状況(2)(処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.62と最も多く、次いで消化器官用薬が0.49となっている。対前年度比は、化学療法剤が6.5%で最も高く、呼吸器官用薬が▲5.2%で最も低い。

表6 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数					対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	
内服薬 総数	2.77	2.80	2.83	2.85	2.87	1.0	1.1	0.8	0.4	
11 中枢神経系用薬	0.44	0.45	0.46	0.45	0.45	1.7	2.6	▲ 1.5	0.1	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	2.8	3.2	▲ 3.5	0.4	
114 解熱鎮痛消炎剤	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	▲0.8	▲0.2	▲ 0.9	▲ 1.5	
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲0.4	1.0	▲ 2.7	▲ 0.7	
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	4.3	4.3	▲ 0.4	1.1	
119 その他中枢神経系用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	12.3	16.6	14.6	13.2	
21 循環器官用薬	0.55	0.56	0.58	0.60	0.62	2.0	3.1	3.1	4.1	
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	▲3.0	▲0.1	▲ 0.5	0.6	
214 血圧降下剤	0.17	0.18	0.19	0.20	0.21	4.8	5.4	5.6	5.6	
217 血管拡張剤	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.2	0.7	0.4	1.3	
218 高脂血症用剤	0.09	0.09	0.10	0.11	0.12	4.2	7.0	7.8	9.2	
22 呼吸器官用薬	0.29	0.29	0.27	0.27	0.25	▲1.3	▲4.7	▲ 1.7	▲ 5.2	
23 消化器官用薬	0.49	0.50	0.50	0.49	0.49	1.1	0.3	▲ 1.1	▲ 0.2	
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.1	0.4	▲ 0.5	0.7	
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	6.0	1.0	▲ 3.1	0.2	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	7.4	4.0	4.6	5.1	
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲1.5	1.4	0.7	0.6	
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.8	1.8	0.5	2.1	
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.1	7.0	6.3	7.8	
33 血液・体液用薬	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	4.1	4.7	4.3	3.1	
39 その他の代謝性医薬品	0.18	0.19	0.20	0.21	0.21	4.6	5.1	3.3	4.0	
396 糖尿病用剤	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	8.5	7.1	6.1	6.6	
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	10.7	16.3	7.5	8.2	
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.3	0.4	0.2	1.0	
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲3.8	▲2.7	▲ 3.8	▲ 3.7	
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.1	2.6	3.4	4.8	
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	▲0.3	0.2	2.4	▲ 4.9	
52 漢方製剤	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	2.4	7.3	6.5	5.9	
61 抗生物質製剤	0.14	0.14	0.13	0.13	0.12	▲1.2	▲4.3	▲ 2.1	▲ 5.0	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07	▲5.5	▲4.0	▲ 2.9	▲ 7.1	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	7.5	▲4.2	▲ 0.2	▲ 1.4	
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲3.8	▲5.3	3.6	6.5	
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	3.8	1.6	▲ 2.5	▲ 2.6	
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲16.6	▲21.0	18.5	39.6	

(注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 7. 薬効分類別の状況(3)(投薬日数)

内服薬の投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の33.5日であり、最も短いのは抗生物質製剤の5.8日である。対前年度比は、アレルギー用薬が5.2%で最も高く、化学療法剤が▲2.1%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別投薬日数

	実数(日)					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
内服薬 総数	16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	3.2	3.5	5.3	4.5
11 中枢神経系用薬	15.6	16.0	16.4	18.0	18.9	2.6	2.4	10.1	4.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	16.0	16.2	16.4	19.4	20.4	1.1	0.9	18.7	5.0
114 解熱鎮痛消炎剤	11.3	11.6	12.1	12.7	13.3	2.9	3.9	4.9	4.7
116 抗パーキンソン剤	21.2	21.7	21.8	23.2	23.8	2.4	0.5	6.0	3.0
117 精神神経用剤	18.7	19.1	19.5	20.8	21.4	2.3	2.0	6.6	3.0
119 その他中枢神経系用薬	21.0	21.6	22.1	23.0	23.4	2.6	2.4	4.1	1.7
21 循環器官用薬	24.1	24.9	25.6	26.5	27.3	3.4	2.8	3.7	2.9
212 不整脈用剤	24.9	25.7	26.4	27.3	28.1	3.1	2.7	3.7	2.7
214 血圧降下剤	24.7	25.6	26.3	27.3	28.0	3.5	2.8	3.6	2.7
217 血管拡張剤	24.3	25.1	25.8	26.7	27.5	3.2	2.8	3.6	2.8
218 高脂血症用剤	25.2	26.1	26.8	27.9	28.8	3.6	2.7	4.0	3.3
22 呼吸器官用薬	7.4	7.4	7.6	7.7	7.9	0.0	1.5	1.6	3.3
23 消化器官用薬	17.2	17.5	18.1	19.0	19.8	2.3	3.0	5.3	4.2
232 消化性潰瘍用剤	18.5	19.1	19.6	20.5	21.2	2.8	2.7	4.6	3.6
239 その他の消化器官用薬	15.6	15.8	16.4	17.7	18.5	1.2	3.7	7.6	4.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	24.8	24.8	25.9	27.1	28.0	0.2	4.3	4.9	3.3
31 ビタミン剤	20.2	20.9	21.5	22.3	23.0	3.5	2.7	4.0	3.2
32 滋養強壮薬	20.8	21.3	21.8	22.5	23.1	2.3	2.2	3.4	2.6
325 蛋白アミノ酸製剤	17.7	18.0	18.4	18.9	19.3	2.0	1.8	2.9	2.2
33 血液・体液用薬	22.0	22.7	23.3	24.2	24.9	3.1	2.8	3.6	3.1
39 その他の代謝性医薬品	19.8	20.6	20.8	21.2	21.7	4.0	1.3	1.8	2.5
396 糖尿病用剤	25.8	26.6	27.4	28.4	29.0	3.2	3.1	3.6	2.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	20.1	20.1	17.6	15.5	14.7	▲0.0	▲12.2	▲11.8	▲5.1
42 腫瘍用薬	28.7	29.9	31.3	32.5	33.5	4.2	4.4	4.0	3.2
422 代謝拮抗剤	21.7	21.5	21.0	20.5	20.1	▲0.9	▲2.4	▲2.0	▲2.3
429 その他の腫瘍用薬	35.9	37.8	40.3	42.2	43.4	5.3	6.6	4.7	3.0
44 アレルギー用薬	11.6	11.9	12.3	13.0	13.7	2.5	4.1	5.6	5.2
52 漢方製剤	16.1	16.5	16.9	17.7	18.4	2.5	2.7	4.5	4.1
61 抗生物質製剤	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	1.5	2.2	2.1	1.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.2	4.3	4.3	4.4	4.4	1.2	1.1	1.3	0.6
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	6.7	6.7	6.9	7.1	7.1	▲0.5	3.5	2.5	0.9
62 化学療法剤	8.6	8.8	9.1	9.5	9.3	2.9	3.6	4.1	▲2.1
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	▲0.4	0.4	1.6	▲0.3
625 抗ウイルス剤	5.7	6.5	7.6	7.8	7.4	14.5	18.0	2.5	▲6.2

注)表示していない項目(薬効)がある。



## 8. 薬効分類別の状況(4)(1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,300円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の36円である。

対前年度比は、中枢神経系用薬が▲5.5%で最も高く、漢方製剤が▲1.8%で最も低い。

表8 内服薬 薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)					対前年度比(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
内服薬 総数	93	88	90	88	90	▲5.3	2.9	▲3.0	3.0
11 中枢神経系用薬	71	70	74	73	77	▲1.2	5.7	▲1.2	5.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	34	32	33	31	31	▲4.3	1.1	▲6.4	1.1
114 解熱鎮痛消炎剤	67	62	64	64	67	▲7.3	2.8	▲0.0	5.1
116 抗パーキンソン剤	151	145	147	144	148	▲3.9	1.1	▲1.8	3.0
117 精神神経用剤	77	78	84	83	87	1.9	7.4	▲1.1	4.9
119 その他中枢神経系用薬	442	423	430	429	448	▲4.4	1.7	▲0.2	4.3
21 循環器官用薬	96	90	92	87	88	▲6.3	1.8	▲5.7	2.0
212 不整脈用剤	129	120	119	111	110	▲7.0	▲0.2	▲7.0	▲1.1
214 血圧降下剤	125	119	121	113	115	▲5.4	2.4	▲7.1	1.6
217 血管拡張剤	72	67	67	62	61	▲7.1	0.4	▲7.6	▲1.4
218 高脂血症用剤	126	112	110	103	104	▲11.1	▲1.5	▲6.3	0.9
22 呼吸器官用薬	41	38	38	36	36	▲7.5	▲1.1	▲5.2	0.5
23 消化器官用薬	56	53	54	53	54	▲6.2	3.3	▲3.1	3.6
232 消化性潰瘍用剤	76	71	73	71	73	▲7.3	3.7	▲3.4	3.4
239 その他の消化器官用薬	88	85	87	85	89	▲4.2	2.2	▲1.5	4.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	161	145	151	147	150	▲9.8	4.2	▲2.7	1.9
31 ビタミン剤	55	51	50	46	45	▲8.1	▲1.6	▲8.1	▲1.4
32 滋養強壮薬	115	112	116	114	118	▲2.1	2.9	▲1.0	2.8
325 蛋白アミノ酸製剤	734	687	678	640	629	▲6.5	▲1.3	▲5.6	▲1.7
33 血液・体液用薬	90	85	90	90	95	▲5.1	5.6	0.3	5.5
39 その他の代謝性医薬品	113	108	113	112	115	▲4.8	5.3	▲0.9	2.8
396 糖尿病用剤	90	84	86	82	83	▲6.6	2.2	▲4.6	0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	246	233	262	295	322	▲5.1	12.2	12.8	9.0
42 腫瘍用薬	1,240	1,221	1,262	1,266	1,300	▲1.5	3.4	0.3	2.7
422 代謝拮抗剤	1,459	1,469	1,564	1,598	1,651	0.7	6.5	2.2	3.3
429 その他の腫瘍用薬	1,147	1,122	1,144	1,147	1,186	▲2.1	1.9	0.3	3.4
44 アレルギー用薬	132	124	128	125	129	▲6.0	3.6	▲2.8	3.5
52 漢方製剤	111	104	102	97	95	▲6.1	▲1.9	▲5.4	▲1.8
61 抗生物質製剤	223	210	210	199	202	▲5.8	▲0.3	▲5.2	1.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	241	223	223	215	215	▲7.5	0.1	▲3.8	0.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	226	212	207	189	193	▲6.2	▲2.4	▲8.5	2.0
62 化学療法剤	576	529	531	518	531	▲8.2	0.3	▲2.5	2.6
624 合成抗菌剤	501	470	481	470	480	▲6.2	2.3	▲2.3	2.2
625 抗ウイルス剤	1,259	1,232	1,320	1,252	1,139	▲2.1	7.1	▲5.2	▲9.0

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、ビタミン剤の45.0%が最も高く、次いで呼吸器官用薬の14.4%となっている。

対前年度差は、腫瘍用薬が2.4%ポイントで最も高く、中枢神経系用薬が0.1%ポイントで最も低い。

表9 内服薬 後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)					対前年度差(%)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
内服薬 総数	4.6	5.2	5.5	6.3	7.0	0.6	0.3	0.8	0.7
11 中枢神経系用薬	2.3	2.4	2.6	3.0	3.1	0.2	0.1	0.5	0.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	3.0	3.6	4.1	5.0	5.2	0.5	0.5	0.8	0.3
114 解熱鎮痛消炎剤	4.3	4.9	5.1	5.8	6.0	0.6	0.2	0.7	0.2
116 抗パーキンソン剤	2.0	2.3	2.5	2.8	2.9	0.3	0.2	0.3	0.1
117 精神神経用剤	1.2	1.2	1.5	2.1	2.4	0.0	0.2	0.7	0.3
119 その他中枢神経系用薬	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
21 循環器官用薬	2.7	3.2	3.4	4.7	5.9	0.5	0.2	1.3	1.1
212 不整脈用剤	3.4	3.7	4.1	5.0	5.6	0.3	0.4	0.9	0.6
214 血圧降下剤	1.0	1.2	1.3	1.5	1.6	0.2	0.1	0.2	0.1
217 血管拡張剤	1.5	2.1	2.6	7.4	13.2	0.6	0.5	4.9	5.7
218 高脂血症用剤	5.3	6.3	6.4	6.7	6.5	1.0	0.2	0.2	▲0.2
22 呼吸器官用薬	13.2	13.4	13.2	14.2	14.4	0.2	▲0.3	1.1	0.1
23 消化器官用薬	6.5	7.9	8.5	9.9	11.1	1.3	0.6	1.4	1.2
232 消化性潰瘍用剤	4.2	5.3	5.9	7.3	8.7	1.2	0.6	1.3	1.4
239 その他の消化器官用薬	1.2	1.3	1.2	1.4	1.8	0.1	▲0.1	0.2	0.3
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	3.6	5.4	4.9	4.4	4.8	1.8	▲0.5	▲0.6	0.4
31 ビタミン剤	41.9	42.6	43.4	44.6	45.0	0.8	0.7	1.2	0.4
32 滋養強壮薬	2.0	2.3	2.2	2.7	2.8	0.3	▲0.1	0.5	0.1
325 蛋白アミノ酸製剤	1.5	1.7	1.5	1.8	1.9	0.2	▲0.2	0.3	0.1
33 血液・体液用薬	6.6	7.4	7.5	8.3	8.7	0.9	0.1	0.8	0.4
39 その他の代謝性医薬品	4.1	5.3	5.7	6.7	7.1	1.2	0.4	1.0	0.4
396 糖尿病用剤	2.7	4.8	5.6	7.4	8.2	2.1	0.8	1.7	0.8
399 他に分類されない代謝性医薬品	1.8	2.8	3.2	3.7	4.0	1.0	0.3	0.5	0.3
42 腫瘍用薬	1.3	1.3	1.3	1.4	3.8	▲0.0	▲0.0	0.1	2.4
422 代謝拮抗剤	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
429 その他の腫瘍用薬	2.1	2.0	1.9	2.0	5.4	▲0.1	▲0.1	0.1	3.4
44 アレルギー用薬	2.9	2.9	3.6	4.6	5.2	0.0	0.7	0.9	0.7
52 漢方製剤	—	—	—	—	—	—	—	—	—
61 抗生物質製剤	1.1	2.5	4.1	5.0	5.6	1.4	1.6	0.9	0.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	1.2	1.4	1.9	2.2	3.0	0.3	0.4	0.3	0.8
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.4	3.3	6.4	8.0	8.2	2.9	3.1	1.6	0.2
62 化学療法剤	4.1	4.9	5.5	5.6	6.2	0.8	0.5	0.1	0.7
624 合成抗菌剤	0.9	1.0	1.2	1.0	4.5	0.0	0.2	▲0.2	3.5
625 抗ウイルス剤	4.7	4.5	3.7	2.7	2.0	▲0.3	▲0.7	▲1.0	▲0.7

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 10. 後発医薬品割合

後発医薬品割合は薬剤料ベースが6.9%、数量ベースが18.9%、後発医薬品調剤率は44.0%となっている。対前年度差は、薬剤料ベースが0.6%ポイント、数量ベースが0.9%ポイント、後発医薬品調剤率が1.0%ポイントとなっている。

表10 後発医薬品割合

	実数(%)					対前年度差(%ポイント)			
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
後発医薬品割合 (薬剤料ベース)	4.9	5.4	5.6	6.4	6.9	0.5	0.2	0.7	0.6
参考:後発医薬品割合 (数量ベース)	14.1	15.4	16.1	18.0	18.9	1.3	0.7	1.9	0.9
参考:後発医薬品調剤率	37.9	39.4	40.1	43.1	44.0	1.5	0.7	3.0	1.0

## 11. 都道府県別の状況(1)(処方せん1枚当たり調剤医療費)

処方せん1枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、石川県が10,641円で最も高く、最も低いのは佐賀県の6,634円である。

表11 都道府県別 処方せん1枚当たり調剤医療費(全数及び電算処理分) 平成21年度

	電算化率(%)	処方せん1枚当たり調剤医療費		
		全数(円)	電算処理分(円)	電算処理分/全数
全 国	99.0	8,034	8,034	1.000
北海道	99.4	9,434	9,446	1.001
青 森	99.3	7,940	7,937	1.000
岩 手	99.4	8,780	8,782	1.000
宮 城	99.1	7,871	7,892	1.003
秋 田	99.4	9,346	9,354	1.001
山 形	99.3	8,233	8,232	1.000
福 島	99.4	8,830	8,831	1.000
茨 城	98.2	8,854	8,815	0.996
栃 木	98.5	7,921	7,910	0.999
群 馬	98.9	8,330	8,329	1.000
埼 玉	99.1	7,846	7,843	1.000
千 葉	98.9	7,998	7,993	0.999
東 京	98.9	7,851	7,850	1.000
神 奈 川	99.0	7,601	7,605	1.000
新 潟	99.3	8,371	8,371	1.000
富 山	98.8	9,133	9,116	0.998
石 川	99.2	10,641	10,646	1.000
福 井	98.4	10,332	10,309	0.998
山 梨	98.5	8,892	8,890	1.000
長 野	98.8	9,331	9,320	0.999
岐 阜	99.2	8,232	8,226	0.999
静 岡	99.3	7,911	7,912	1.000
愛 知	99.2	7,747	7,740	0.999
三 重	99.1	8,004	7,995	0.999
滋 賀	99.1	8,480	8,474	0.999
京 都	98.8	9,971	9,973	1.000
大 阪	99.1	8,434	8,440	1.001
兵 庫	99.2	7,691	7,691	1.000
奈 良	99.1	8,055	8,052	1.000
和 歌 山	99.0	8,445	8,448	1.000
鳥 取	99.4	8,457	8,458	1.000
島 根	99.5	8,463	8,468	1.001
岡 山	99.0	7,412	7,411	1.000
広 島	98.5	7,379	7,375	0.999
山 口	99.4	7,548	7,548	1.000
徳 島	98.6	8,580	8,575	0.999
香 川	99.0	8,351	8,341	0.999
愛 媛	99.1	8,236	8,232	1.000
高 知	98.9	9,234	9,230	1.000
福 岡	98.3	6,768	6,774	1.001
佐 賀	99.2	6,634	6,635	1.000
長 崎	98.8	7,528	7,522	0.999
熊 本	99.2	7,216	7,220	1.000
大 分	99.5	7,941	7,949	1.001
宮 崎	99.3	7,394	7,397	1.000
鹿 児 島	99.5	7,138	7,140	1.000
沖 縄	99.2	7,447	7,444	1.000

## 12. 都道府県別の状況(2)(処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳)

処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い石川県では、技術料の割合が21.3%、薬剤料の割合が78.5%となっている。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が29.6%、薬剤料の割合が70.4%となっている。

表12 都道府県別 処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳

平成21年度

	調剤医療費(円)	技術料(円)		薬剤料(円)		特定保険医療材料料(円)	
		構成割合(%)	構成割合(%)	構成割合(%)	構成割合(%)		構成割合(%)
全国	8,034	2,010	25.0	6,011	74.8	13	0.2
北海道	9,446	2,146	22.7	7,287	77.1	13	0.1
青森	7,937	2,011	25.3	5,904	74.4	22	0.3
岩手	8,782	2,057	23.4	6,714	76.5	11	0.1
宮城	7,892	1,999	25.3	5,882	74.5	11	0.1
秋田	9,354	2,108	22.5	7,229	77.3	17	0.2
山形	8,232	2,039	24.8	6,164	74.9	29	0.4
福島	8,831	2,129	24.1	6,691	75.8	11	0.1
茨城	8,815	2,076	23.6	6,727	76.3	12	0.1
栃木	7,910	1,980	25.0	5,919	74.8	12	0.1
群馬	8,329	1,974	23.7	6,341	76.1	13	0.2
埼玉	7,843	1,967	25.1	5,863	74.8	12	0.1
千葉	7,993	1,965	24.6	6,015	75.3	13	0.2
東京	7,850	1,945	24.8	5,893	75.1	12	0.1
神奈川	7,605	1,918	25.2	5,674	74.6	12	0.2
新潟	8,371	2,077	24.8	6,284	75.1	9	0.1
富山	9,116	2,160	23.7	6,942	76.2	14	0.2
石川	10,646	2,272	21.3	8,354	78.5	20	0.2
福井	10,309	2,172	21.1	8,095	78.5	42	0.4
山梨	8,890	2,068	23.3	6,801	76.5	20	0.2
長野	9,320	2,192	23.5	7,114	76.3	14	0.1
岐阜	8,226	2,089	25.4	6,125	74.5	13	0.2
静岡	7,912	1,989	25.1	5,907	74.7	16	0.2
愛知	7,740	1,980	25.6	5,748	74.3	13	0.2
三重	7,995	2,031	25.4	5,952	74.4	12	0.2
滋賀	8,474	1,994	23.5	6,456	76.2	24	0.3
京都	9,973	2,170	21.8	7,773	77.9	30	0.3
大阪	8,440	2,044	24.2	6,376	75.6	19	0.2
兵庫	7,691	1,997	26.0	5,683	73.9	11	0.1
奈良	8,052	2,103	26.1	5,941	73.8	8	0.1
和歌山	8,448	2,016	23.9	6,420	76.0	12	0.1
鳥取	8,458	2,139	25.3	6,303	74.5	16	0.2
島根	8,468	2,162	25.5	6,288	74.3	18	0.2
岡山	7,411	2,001	27.0	5,400	72.9	10	0.1
広島	7,375	1,990	27.0	5,373	72.9	12	0.2
山口	7,548	2,016	26.7	5,522	73.2	10	0.1
徳島	8,575	2,082	24.3	6,477	75.5	16	0.2
香川	8,341	2,056	24.6	6,251	74.9	35	0.4
愛媛	8,232	2,026	24.6	6,191	75.2	15	0.2
高知	9,230	2,167	23.5	7,051	76.4	12	0.1
福岡	6,774	1,952	28.8	4,813	71.1	9	0.1
佐賀	6,635	1,962	29.6	4,668	70.4	5	0.1
長崎	7,522	1,989	26.4	5,523	73.4	10	0.1
熊本	7,220	1,946	27.0	5,262	72.9	11	0.2
大分	7,949	2,028	25.5	5,916	74.4	5	0.1
宮崎	7,397	1,996	27.0	5,392	72.9	9	0.1
鹿児島	7,140	2,021	28.3	5,112	71.6	7	0.1
沖縄	7,444	1,919	25.8	5,508	74.0	17	0.2

13. 都道府県別の状況(3)(処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、石川県が7,289円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.27、23.5日、95円となっている。一方、佐賀県が3,970円と最も低く、3要素に分解すると、2.89、15.7日、88円となっており、投薬日数が最も低くなっている。

表13 都道府県別 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解 平成21年度

	処方せん1枚当たり薬剤料(円)			
	処方せん1枚当たり 薬剤種類数	投薬日数(日)	1種類1日当たり 薬剤料(円)	
全 国	5,087	2.87	19.7	90
北海道	6,192	3.20	22.6	86
青森	5,019	2.91	19.9	87
岩手	5,811	2.84	23.5	87
宮城	4,987	2.83	20.5	86
秋田	6,222	3.13	22.9	87
山形	5,201	2.78	21.6	87
福島	5,781	3.08	21.0	89
茨城	5,794	2.94	21.6	91
栃木	5,095	2.89	19.6	90
群馬	5,428	2.88	20.4	92
埼玉	5,014	2.78	20.0	90
千葉	5,086	2.70	20.8	90
東京	4,965	2.76	19.5	92
神奈川	4,784	2.62	19.8	92
新潟	5,358	2.71	22.6	87
富山	5,995	2.88	23.2	90
石川	7,289	3.27	23.5	95
福井	6,899	3.15	23.5	93
山梨	5,801	2.87	22.3	91
長野	6,103	2.87	24.0	89
岐阜	5,203	3.00	18.7	93
静岡	4,984	2.73	20.0	91
愛知	4,831	2.81	18.4	94
三重	5,063	2.83	19.6	91
滋賀	5,451	2.81	20.5	95
京都	6,558	3.06	22.3	96
大阪	5,311	3.03	18.7	94
兵庫	4,738	2.80	18.7	91
奈良	4,975	2.79	20.4	88
和歌山	5,419	2.97	20.5	89
鳥取	5,403	2.97	20.0	91
島根	5,487	3.08	20.4	87
岡山	4,633	2.97	17.9	87
広島	4,526	2.92	16.8	92
山口	4,687	2.76	18.3	93
徳島	5,612	3.05	19.1	96
香川	5,263	2.92	18.9	95
愛媛	5,220	2.84	19.9	92
高知	6,088	3.16	21.2	91
福岡	4,033	2.93	16.0	86
佐賀	3,970	2.89	15.7	88
長崎	4,672	3.01	18.1	86
熊本	4,408	3.09	16.9	85
大分	5,055	3.12	18.3	89
宮崎	4,471	2.84	18.2	86
鹿児島	4,311	2.88	17.9	83
沖縄	4,468	2.70	20.4	81

#### 14. 都道府県別の状況(4)(後発医薬品割合)

後発医薬品割合を都道府県別にみると、薬剤料、数量ベースともに沖縄県が最も高く、10.9%、31.0%となっている。一方、薬剤料ベース、数量ベースともに徳島県が最も低く4.8%、15.0%となっている。

表14 都道府県別 後発医薬品割合

平成21年度

	後発医薬品割合		(参考)後発医薬品調剤率(%)
	薬剤料ベース(%)	(参考)数量ベース(%)	
全 国	6.9	19.0	44.0
北 海 道	8.3	20.9	49.0
青 森 県	8.5	21.8	50.7
岩 手 県	9.6	22.2	49.7
宮 城 県	8.2	21.5	48.0
秋 田 県	5.7	15.6	41.9
山 形 県	8.0	21.0	47.1
福 島 県	6.7	18.8	47.1
茨 城 県	6.5	18.0	42.2
栃 木 県	7.2	19.6	45.1
群 馬 県	6.9	20.0	43.5
埼 玉 県	7.2	19.4	44.1
千 葉 県	7.1	19.4	42.7
東 京 都	6.1	16.4	38.3
神 奈 川 県	6.6	17.8	39.1
新 潟 県	7.5	19.0	45.3
富 山 県	7.6	20.7	49.6
石 川 県	6.2	19.2	44.8
福 井 県	6.1	19.2	45.8
山 梨 県	6.2	17.6	40.2
長 野 県	7.3	18.9	40.9
岐 阜 県	6.4	18.1	45.1
静 岡 県	7.1	19.2	44.2
愛 知 県	6.3	17.4	44.3
三 重 県	7.0	19.2	46.0
滋 賀 県	5.5	16.6	41.5
京 都 府	6.3	19.5	43.7
大 阪 府	6.2	18.6	43.1
兵 庫 県	6.6	19.0	43.5
奈 良 県	7.8	20.6	44.4
和 歌 山 県	6.3	17.4	40.4
鳥 取 県	6.1	18.1	42.6
島 根 県	6.7	17.9	43.6
山 口 県	7.1	20.5	46.7
広 島 県	6.8	18.1	45.1
山 口 県	7.0	19.1	45.8
徳 島 県	4.8	15.0	38.2
香 川 県	5.6	17.7	42.4
愛 媛 県	6.0	19.3	46.5
高 知 県	5.9	17.0	42.5
福 岡 県	7.2	19.8	47.3
佐 賀 県	7.0	18.9	46.6
長 崎 県	7.1	20.2	48.3
熊 本 県	7.8	21.5	50.7
大 分 県	7.3	20.6	47.9
宮 崎 県	7.1	20.8	47.5
鹿 児 島 県	9.0	23.3	51.8
沖 縄 県	10.9	31.0	58.6